

## 香港特別行政区の新型コロナウイルス (COVID-19) 状況報告

2020/5/11 営業部 梁 博瀚

感染者数 1,041；死亡者数 4；回復者数 932(+12) 5月4日現在

香港で確認された新しい症例は 16 日間連続ではありません

1月28日、香港の最高経営責任者である Mrs. Carrie Lam は中国本土との高速鉄道リンク、およびすべての国境を越えたフェリーサービスを、1月30日から一時停止させています。さらに、中国本土からのフライト数と国境を越えたバスサービスを減少させました。香港の公務員（必須/緊急サービスを提供するものを除く）は、在宅勤務を求められました。

2月5日から、政府は3つの国境検問所（香港・珠海・マカオ橋、深圳湾港、国際空港）を除いて全ての国境を閉鎖し、強化した検疫措置を導入しました。香港政府は、香港人の要求する全ての国境閉鎖は拒否しました。

3月25日から、香港は国外から到着するすべての非居住者のエントリーを禁止しました。香港を通過することも許可されなくなりました。出発地に関係なく、すべての帰国居住者は強制検疫命令の対象となり、指定された検疫施設（自宅またはホテルのいずれか）で14日間自己隔離して、追跡装置を使用することを強制しました。米国、英国、およびヨーロッパ大陸からのすべての帰国者は、COVID-19 PCR 検査を実施しています。

3月27日、Mrs. Carrie Lam は、3月29日から5月7日まで、4人以上の屋内および屋外の集会を禁止しました。また、レストランには定員の半分で稼働し、少なくとも1.5メートル離れた場所にテーブルを設置する指示を出しました。

4月1日、香港政府はカラオケラウンジ、ナイトクラブ、麻雀施設の一時的な閉鎖を発表しました。政府が一時的に閉鎖する施設のリストに混乱がありましたが、四月初旬に、パブ、バー、美容院、マッサージパーラー、クラブハウスなども閉鎖対象になりました。

4月6日から、香港からマカオ、およびマカオから香港へのゴールデンバスは運休になります。つまり、香港とマカオとの海、陸による公共交通機関は正式に閉鎖されました。

5月4日から通常の行政サービスを2段階で再開します。第1段階は、学校や一部のレクリエーション対策などを除き、実施されます。運輸省は運転試験を再開、香港住宅管理局と社会保障局も通常業務を再開します。

5月8日から、屋内および屋外の集会人数は4人から8人に緩和され、レストランへの管理措置も一部緩和しました。学校再開は段階的に実施します。

## 学校再開

5月5日、政府は段階的にクラスの再開を発表し、半日制を採用しました。

中学3年生～中学5年生：5月27日再開

小学4年生～中学2年生：6月8日再開

幼稚園3年生～小学3年生：6月15日再開

幼稚園1、2年生：この学年のクラスを再開しません

特殊学校、グループ教育学校、視覚障害および聴覚障害のある学校：5月27日から

軽度および中程度の精神障害の特殊学校の特別学校：6月8日再開

重度の知的障害および病院は、学校：6月15日再開

インターナショナルスクール：5月20日から（学校別の決定に従うこと）

## 経済影響

香港政府観光局が発表したデータによると、3月1日から3月19日、香港への訪問者数は82,000人で、前年比98.6%減、内中国からの訪問者数は27,000人で、前年比99.4%減少しました。

また、香港特別行政区の入国管理局が最新のデータを発表しました。5月1日（労働者の日）、香港には1,528人が入国しました。そのうち、香港の住民が90%以上、中国からの観光客はたった119人で（2019年：106万人）、大幅に削減されました。5月4日、香港政府は、2020年第1四半期のGDPが前年同期比で8.9%減少したことを発表しました。これは、1974年の第1四半期の記録以来、前年同期比で最大の減少でした。

## その他の情報

4月下旬、香港科学技術大学の研究者は、新しく開発された抗ウイルスコーティング（MAP-1）がCOVID-19に対して最大90日間の保護を提供する可能性があるとして述べました。エレベーターボタンや手すりなどのよく使用される表面にスプレーし、スプレー後に形成されるコーティングには、消毒剤を含む数百万のナノカプセルが含まれています。コーティングが乾燥した後でも、細菌、ウイルス、胞子を殺すのに効果的です。非毒性で、皮膚と環境にとって安全であると研究者達は言います。

5月1日、4人の集まりの制限が守られたため、主要な労働者の日のデモはありませんでした。警察は、ストリートブースやショッピングモールで、社会的距離のルールに違反者に18枚のペナルティチケット（1枚HKD5,000）が発行されました。

香港政府は5月6日、最新の流行防止政策を発表しました。再利用可能（40–60回）なマスク「CuMask」（一人一枚）と3,000万枚（一人三枚）の使い捨てマスクが香港のすべての市民に配布されます。「CuMask」は5月6日からオンライン登録が可能となり、6月末に配布されますが、政策は遅すぎると市民に批判されています。